

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立刀根山高等学校
校長名	無津呂 弘之

開催日時	令和6年5月27日(月) 15時から16時15分
開催場所	本校会議室
出席者(委員)	岩槻会長、藤原副会長、山岸委員、仲委員、宮下委員、後藤委員
出席者(学校)	無津呂校長、粉生教頭、松葉事務長、越智首席、道場首席
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画、令和6年度の各分掌の取組み
備考	

議題等
○令和6年度の計画・取組みについて
協議内容(意見の概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上について、高校に入学した最初の段階で、意識改革をする必要が感じている。 ・進路指導について、学校経営計画では行きたい大学をめざすと書かれているが、刀根山高校の生徒は穏やかでおとなしい生徒が多いと感じている。そのような中で、行きたい大学に行こうとしている生徒は少ないのではないか。 →学校より説明。以前から一般入試まで挑戦する生徒は増えていて、昨年度は安易に学校推薦型選抜を選択するのではなく、行きたい大学を最後までめざす指導を行った。また、志望校決めの相談は夏や秋の懇談を中心に何度も繰り返し相談を受けている。 ・学校のホームページの活用について、ホームページを充実していくことも大切だが、最近ではSNSを活用している学校が増えてきている。刀根山高校でもSNSの活用を考えていただきたい。 ・教員の時間外勤務について、中学校でも部活動に対して保護者や生徒たちからのニーズが高く、そのため、時間外勤務が増えている。中学校は地域活用に移行していく流れであるが、高校ではそのような流れではないと思われるので、ぜひ、短時間で効率的な部活動を実践して、中学校にも教えていただきたい。 ・高校の私学無償化で公立高校が生徒募集に苦労されていると思われる。刀根山高校には府内ではめずらしい校内緑地(裏山)があるので、それを生かした魅力を発信してほしい。 ・地域との連携について、裏山は昔からの刀根山の生息をする貴重な資源である。また、例年、地域の子どもたちを連れて、裏山を探検させていただいているが、子どもたちはとても楽しみにしている。 ・防災訓練について、日中に地域に残っているのが子どもたちと高齢者が中心となるので、中・高校生にも協力をいただきたい。防災訓練も地域で連携していただきたい。 ・ボランティア活動について、コロナ禍で以前行っていたことができなくなっているようであるが、地域の方々との関わり合いで、勉強や部活動以外でも学べることもあると思われる。ぜひ、ボランティア活動についても活発に行っていただきたい。